

【スケッター好事例インタビュー】地域とのつながりが生まれ、現場にも心の余裕ができた | 株式会社日本福社会 えがおで寺塚



「えがおで寺塚」でスケッター受け入れを担当する梅原さん

福岡市南区の高齢者向け住宅「えがおで寺塚」では、現場の慌ただしさを解消するためにスケッターを活用しています。現在では10代から70代まで幅広い年代の方が参加しており、継続的に活動するスケッターさんも増えています。

今回は、スケッター導入のきっかけや受け入れ時の工夫、実際に感じた効果について、えがおで寺塚の担当者さまにお話を伺いました。

まずは事業所のご紹介をお願いします



えがおで寺塚は、福岡市南区にある高齢者向け住宅です。

施設の大きな特徴は、24時間の医療・介護・看護サポート体制を整えていることです。日常的な健康管理から急な体調変化まで、安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいます。

そのほかにも、入居一時金 0 円のわかりやすい料金体系や、お一人おひとりの状態に合わせたリハビリテーション、安心・安全な生活環境の整備など、ご入居様が笑顔で暮らせる住まいづくりに取り組んでいます。

単に生活を支えるだけではなく、ご入居者様やご家族様に「ここに来て良かった」と感じていただける施設を目指し、日々サービスを提供しています。

スケッターを導入した動機や背景を教えてください。

スケッターを導入した理由は、現場の慌ただしさを少しでも解消したいと考えたからです。

当施設では、毎日 16 時 30 分頃から送迎とおやつの準備が重なり、スタッフの動きが集中する時間帯があります。「この時間を少しでもサポートしていただけたら助かるな」と感じていた時に、スケッターのお話を伺いました。

スケッターでは、おやつの準備や食器洗いなどの身近なお手伝いをお願いできます。そのため、「これなら地域の方にも気軽に参加していただけるのではないか」と感じました。また、1 時間程度の短時間から募集できる点も魅力でした。

もちろん最初は、「知らない方を受け入れて大丈夫だろうか」「教えることでかえってスタッフの負担が増えてしまわないだろうか」といった不安もありました。

それでも、まずはおやつの時間帯の 1 時間だけ募集してみようと始めたところ、想像していたようなデメリットはなく、今では現場の慌ただしさの解消につながっており、スタッフにとっても心強い存在になっています。

これまでにどんなスケッターさんが来てくれましたか？

これまで 10 代から 70 代まで、本当に幅広い年代の方に参加していただいています。

参加される理由もさまざまですが、「地域に貢献したい」「人の役に立ちたい」「地域とのつながりを持ちたい」といった想いを持って来てくださる方が多い印象です。中には、バスを乗り継いだり徒歩で 1 時間ほどかけたりして来てくださる学生さんもいらっしゃいました。それだけ介護施設の現場に興味を持ち、「何か役に立ちたい」と考えてくださる方が多いのだと感じています。

また、一度参加した方が継続して来てくださるケースも多く、最初に応募してくださった方は 3 か月以上継続して参加されています。現在では 5 名ほどの方が定期的に来てくださっており、中には初回参加のその日に「今月あと 5 回入りたいです」と希望された方もいました。私たち自身、それだけ前向きに参加していただけたことがとてもうれしく感じました。

ちなみに、現在募集しているのは 16 時 30 分～17 時 30 分の 1 時間です。短時間で参加しやすいこともあり、継続して来てくださる方が多いのかもしれません。

実際にスケッターを受け入れて、現場にはどんな変化がありましたか？



今月のスケッター受け入れスケジュールを管理画面で簡単に確認

一番大きな変化は、スタッフに心の余裕が生まれたことです。

これまでは送迎とおやつの準備が重なる時間帯になると慌ただしさがありましたが、スケッターさんにお手伝いいただけるようになったことで、その時間帯に少し余裕を持って動けるようになりました。

また、地域のさまざまな方が施設に来てくださること自体が、利用者様にとって良い刺激になっているようで、普段とは違った会話や交流を楽しんでいる利用者さんもいらっしゃいます。

さらに、スタッフの意識にも変化がありました。当初は「どんな方が来るのだろう」という不安もありましたが、実際に受け入れてみると想像以上に頼もしく、今では「こんなこともお願いできるかもしれない」と感じる場面が増えています。

スケッターさんの応募対応や、やり取りは大変ですか？

実際に始めてみると、想像していたほど大変ではありませんでした。

導入前は、「初めて来られる方に毎回説明するのは大変なのではないか」「教えることでかえって負担が増えるのではないか」といった不安もありました。ですが、実際には意欲的に参加され

の方が多く、業務もすぐに覚えてくださいます。私たちが思っていた以上に受け入れはスムーズでした。

また、えがおで寺塚では、初めて来られる方が安心して活動できるよう、5～10分ほどオリエンテーションの時間を設けています。施設の説明や業務内容の確認を行うだけでなく、スタッフからも積極的に声をかけたり世間話をしたりしながら、少しでも緊張をほぐせるよう心がけています。

そのおかげもあってか、継続して参加してくださる方が多くいらっしゃいます。今では安心して受け入れられるようになりました。

今後どんなスケッターさんに来て欲しいですか？

今後は、おやつ準備や食器洗いでなく、夏祭りや季節のイベントなどでもスケッターさんに参加していただきたいと考えています。

イベントの準備はスタッフだけでは大変な場面も多いので、一緒に楽しみながらお手伝いしてくださる方が来てくれるとうれしいですね。

また、スケッターを通じて地域の方に施設を知っていただき、地域とのつながりを広げていきたいとも考えています。実際にスケッターさんとの交流の様子はInstagramでも発信中です。施設の雰囲気や日々の取り組みを地域の方に知っていただくきっかけになればと考えています。

介護経験の有無に関係なく、「誰かの役に立ちたい」「地域と関わりたい」という気持ちを持った方であれば、ぜひ気軽に参加していただけたらうれしいです。

最後に、スケッターの活用を検討されている事業所へ、メッセージをお願いします。

スケッターの活用にあたって、最初は「本当にうまくいくのだろうか」「受け入れの負担が増えないだろうか」と不安に感じていました。

ですが、実際に始めてみると、送迎とおやつ準備が重なる時間帯の負担が軽減され、スタッフが利用者様と向き合う時間にも余裕が生まれました。また、利用者様との会話や交流も自然と増え、私たちが想像していた以上の良い効果を感じています。

何かしら忙しい時間帯や業務がある事業所であれば、その部分を補ってくれる心強い助っ人になると思います。まずは短時間の業務からでも、ぜひチャレンジしてみたいと思います。

【えがおで寺塚さんのスケッターページはこちら！】

<https://www.sketter.jp/hosts/16886>